

くまむら議会だより



107号

2022.12.12

志
済

さらなる
復旧・復興に
むけて

もくじ

9月定例会	2
9月定例会議案等審議結果	3
決算審査特別委員会で可決	4
一般質問	6
編集後記	14

晩秋の那良川

9月 定例会

令和3年度一般会計「歳出」決算額は、約99億円

第6回定例会が、9月6日から13日までの8日間の日程で開催されました。

初日は、6月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、一部事務組合の報告を行い、続いて、日隠啓一代表監査委員より、令和3年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について報告を受け、その後、認定5件、議案4件、同意1件が上程されました。

7日と8日には、決算審査特別委員会を設置し、令和3年度決算について執行部からの説明をうけ審議しました。

一般質問は6名の議員が通告書に基づき登壇し質問を行いました。12日と13日に、議案の審議が行われ全員一致で全て可決しました。(審議された議案は、6ページのと

おりです)



議会を傍聴する球磨中学校3年生（6月定例会）

【認定】

○令和3年度球磨村一般会計決算の認定

○令和3年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定

○令和3年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定

○令和3年度球磨村介護保険特別会計決算の認定

○令和3年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定

(各会計の決算額は下表のとおり)

【予算】

○令和4年度一般会計補正予算

○令和4年度国民健康保険特別会計補正予算

○介護保険特別会計補正予算

○簡易水道特別会計補正予算

【同意】

○球磨村教育委員の選任同意

中井 久美 委員

令和3年度一般会計及び特別会計の決算額

	歳入額	歳出額
一般会計	111億1,496万9千円	98億9,689万2千円
国民健康保険特別会計	5億9,009万3千円	5億2,929万9千円
後期高齢者医療特別会計	4,763万1千円	4,743万3千円
介護保険特別会計	7億4,756万3千円	7億538万円
簡易水道特別会計	9,795万円	7,438万4千円
合計	125億9,820万6千円	112億5,338万8千円

千円以下は端数調整をしていますのでご了承ください。

9月定例会 審議した議案等とその結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
報告第6号	令和3年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	9	0
認定第1号	令和3年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第2号	令和3年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第3号	令和3年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第4号	令和3年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第5号	令和3年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
議案第47号	令和4年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第48号	令和4年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第49号	令和4年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第50号	令和4年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決	9	0
同意第3号	球磨村教育委員会委員の選任同意について	原案同意	9	0

(採決の人数は、議長を除く9名)

どなたでも傍聴できます。

9月定例議会の傍聴人数は延べ17人でした。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、傍聴者も手指の消毒とマスクの着用、傍聴席の座席を1つ空けて着席をお願いしました。

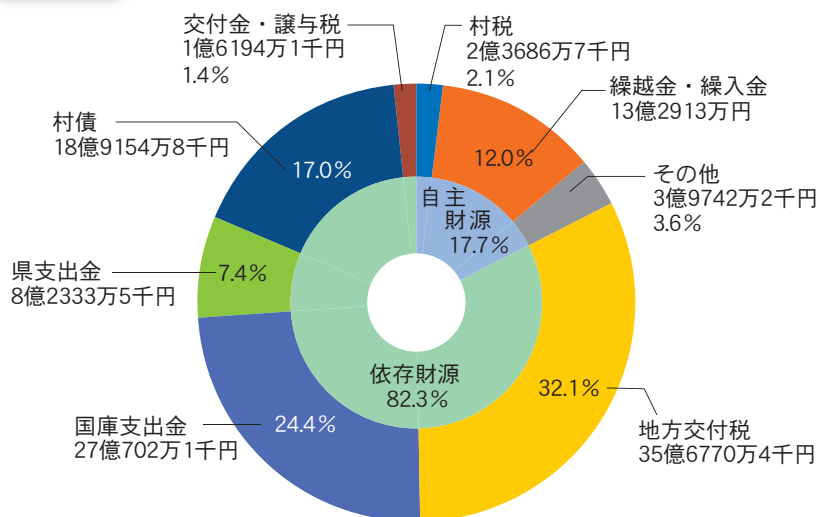
決算審査特別委員会で可決

令和3年度一般会計及び特別会計の決算について、日隠啓一代表監査委員より決算審査の報告を受け、認定のため決算審査特別委員会を設置し審議しました。

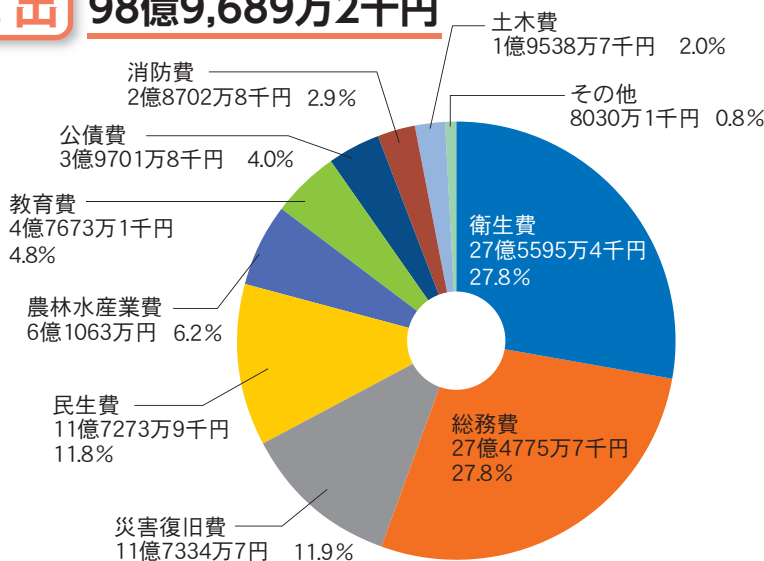
審査日程については、9月6日に正副委員長を選任し、7日及び8日に執行部関係者から説明を受け審議にあたり、全員一致で可決しました。

また、委員から予算の執行で終わるのではなく、事業を実施し目的に対しどのような成果が上がったか検証することが重要。決算審査及び議会決算審査特別委員会の質問や意見をしっかりと協議し今後の成果に結びつけてほしいと意見が出されました。

歳入 111億1,496万9千円



歳出 98億9,689万2千円



注意：決算書に基づく金額を記載

令和3年度一般会計決算の内訳 (左図)

令和3年度一般会計決算の比率は歳入財源の比率は、村税等からなる自主財源が約18%、国・県支出金等の依存財源が約82%となっています。

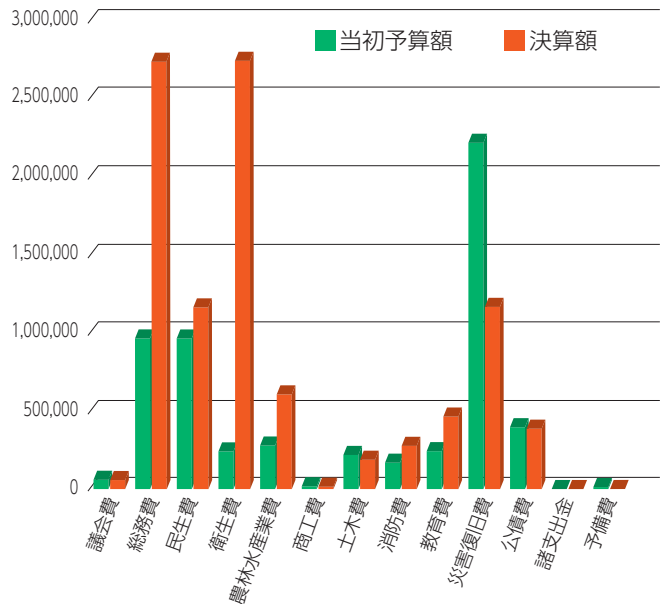
歳出決算額は、前年度に比べ約21億1,963万円が増加。新型コロナウイルス感染症対策及び令和2年7月豪雨災害に関連した災害復旧事業費や災害廃棄物処理費に係る事業費が大幅に増加しました。

令和3年度「球磨村一般会計予算」の当初予算額と決算額の比較

(単位：千円)

	当初予算額	決算額	増減
議会費	58,364	56,275	△ 2,089
総務費	976,057	2,747,757	1,771,700
民生費	976,796	1,172,739	195,943
衛生費	253,531	2,755,954	2,502,423
農林水産業費	285,655	610,630	324,975
商工費	21,893	22,995	1,102
土木費	227,332	195,387	△ 31,945
消防費	174,915	287,028	112,113
教育費	253,080	476,731	223,651
災害復旧費	2,226,794	1,173,347	△ 1,053,447
公債費	400,581	397,018	△ 3,563
諸支出金	2	0	△ 2
予備費	10,000	1,031	△ 8,969
歳出合計	5,865,000	9,896,892	4,031,892

単位：千円



決算審査特別委員会 委員長報告

田代 利一 委員長

歳入について

健全な財政運営を図るためには、自主財源の確保が重要であり、村税については、催告状の発送や分納誓約など、徴収努力の成果により未収入額が減少している。特別会計においても連携を図り徴収の向上に努めること。

また、納税の公平性からも、安易に不納欠損処理をすることなく、それまでの調査を適正に実施し、納税意欲の低下にならないよう努めること。

歳出について

一般会計では、災害や新型コロナウイルス感染症に関連する予算が大幅に増えているが、予算が増える中、実施した事業も数値的な効果の検証がなされていない。現状を把握し、どのような効果があったのかを数値で示し、限られた予算の中で、適正

な予算の執行に努め、その効果が次の成果に活かせるよう検討をすること。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険特別会計においては、健康増進事業に尽力されている。今後も、財政状況との関連も含め、高齢者の生きがいづくりや健康教室により健康寿命が延びるような事業の推進を望む。併せて、一般会計と同様、効果の検証を行い、適正な予算執行に努めること。

簡易水道特別会計では、本来、公営企業として独立採算制が原則であるが、人口が減少する中、料金改定の必要性も検討しながら、持続的な簡易水道事業に努めること。

最後に、令和2年7月豪雨災害から2年が経過し、今後、本格的な復興が進み莫大な予算が必要となるなか、新型コロナウイルス感染症も終息の兆しも見えず、今後の財政運営も不透明な状況である。一つひとつの事業を再度見直し、適正な予算の執行をお願いする。

一般質問

9月定例会の一般質問には6人の議員が登壇し、村への提言や質問を行いました。

※紙面の都合により、質問と答弁を要約した内容を登壇順にお知らせします。

村の考えを問う

田代 利一 議員
(7ページ)

- 1 創造的復興について
- 2 農業振興について

永椎樹一郎 議員
(8ページ)

- 1 復興まちづくり計画「神瀬地域」
- 2 復興復旧に向けた行政改革

西林 尚賜 議員
(9ページ)

- 1 復興、復旧の状況
- 2 球磨村の未来像

宮本 宣彦 議員
(10ページ)

- 1 インフラ認定の解除の状況について
- 2 地域活動支援について
- 3 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について

板崎 壽一 議員
(11ページ)

- 1 一勝地駅前にぎわい創出事業について

高澤 康成 議員
(12ページ)

- 1 今ある危機対応も重要でありながら将来に対するリスク対策

一般質問とは

村のさまざまな課題等について、議員が提言も含めて、村の現状や方針を問うものです。会議録は議会ホームページのほか、議会事務局でもご覧いただけます。

創造的復興の観点から学校再編は

田代 利一 議員



答 小中一貫義務教育学校の令和6年度開校準備を進める

問 義務教育学校に対する創造的復興の観点から、どのような学校にしたいのか。

村長 本村の児童生徒は、令和2年豪雨災害により、生活・教育環境に大きな変化が生じ心身ともさまざまな影響を受け、十分な教育環境とは言えない状況である。

こうした課題の解決と球磨村教育の創造的復興のため、小中一貫義務教育学校の令和6年度開校に向け準備を進めている。

問 各小中学校の閉校と開校に向けた準備状況は。

教育長 義務教育学校の開校に向けて、7月に開校準備委員会を開催し、5つの部会を設置し、具

体的な協議と計画を進めているが、

開校と同時に閉校というのが入ってくるので、いろんな問題が出てくると思う。

係教育 各小中学校の閉校実行委員会の中で、記念誌の作成等、協議・検討をしている状況である。

問 施設分離型義務教育学校と施設一体型義務教育学校についての考えは。

教育長 豪雨災害以前には学校再編の話は全くなく、令和2年の豪雨災害により、教育環境等一

変してしまい、村外への転出により、児童数も減り、各学校に複式学級が発生している。その解決に小中学校の統合の話が出て、3つの学校が独自性をもった学校運営ができなくなっている為、早期の統合が考え

られる。

村長 施設一体型義務教育学校については、魅力のある学校

にすることで、球磨村の創造的復興の核になるように考えていく。建設場所として①一勝地区の現校舎を解体して新築する ②一勝地区の現校舎を増築・改修する ③渡運動公園に新築するの3ケースを検討して、適切な場所をと考えている。

問 農業振興について、豪雨災害以降農地の復旧・復興が進んでいないが現状は。

村長 農地農業用施設の災害復旧工事については、不調不落

が続く復旧が進んでいない現状である。渡地区の小川・島田地区の小川川沿いと、地下・今村・山口地区の国道沿いは県の復旧工事となっており、年内には工事に着手できる見込みである。

問 農村・漁村振興交付金について、村は窓口になっているだけで改良する必要があると思うが。

村長 国の交付金を活用としての事業であり、交付金が無駄にならないように、協議会の自主性に任せず、交付金の用途等確認していきたいと思う。



中学校の先生が小学生へ授業をする「乗り入れ授業」の様子

「村民が一番」の課題解決 創造的復興、村の将来像は 永椎樹一郎議員



答 できることを二つずつ実施し、球磨村の将来を考え、優先順位をつけて取り組んで行く

問 神瀬水道組合、簡易水道への移管について現在の状況については。

村長 豪雨災害前に協議がされていたが、甚大な被害を受け協議が中断している。全世帯の了承が前提となるが、引き続き、災害復旧を最優先に取り組み、村内全域の水道供給の在り方を踏まえ、検討していく。

問 復旧・復興に向けた行財政改革の計画、目標の実績および進捗状況は。

村長 行財政改革大綱を制定し、「行政運営の効率化」「財政の健全化」「人事管理の適正化」に重点を置き取り組んでいる。計画している各項目においては、概ね達成している。今後も国県の指導を仰ぎながら精査し、さらなる行財政改革の必要性を検討していく。

問 行政運営、地域コミュニティの再生、今後新たな行政区の在り方も必要だと思うが。

村長 今後の災害公営住宅、宅地造成が終了し、新しい住まいに移られた時に、どういう形になるかしっかりと踏まえ、コミュニティの再生等を検討していく。

問 行政改革、役場組織の再編、職員配置の課題と検証については。

村長 復旧・復興事業の支援により、多くの派遣職員や任期付職員を採用している。今後は大幅に人員減少が予想されるが、今後も復興状況を踏まえ、住民サービス向上を第一に考えたうえで、柔軟な組織編制に努め、事業の停滞を招かないよう人員確保、適正な職員の配置を行っていく。

が、復旧がある程度めぐがついて、次の復興の段階で、人事交流をやっていく必要があると思う。

問 被災した農業振興地域の営農としての整備、なりの営農の再生、稼げる農業の実現、スマート農林業の導入、資源を活用した雇用の創出、具体的な施策は。

村長 被災した農業振興地域の営農の整備は、遊水地内で営農エリアを整備する方向で考えている。

生産基盤の再生についても早期復旧を進める。稼げる農業の実現については、軒下支援事業、インターネット販売の運用を始めている。スマート農林業の導入は、中山間地での導入には厳しいものがあるが、ドローンによる農薬散布の実演会を実施した。

村長 防災拠点施設については、避難敷地をどれだけ確保できるか、避難敷地を効果的に活用する。住民が利用しやすい、避難しやすい安心安全な避難路・避難地となるよう取り組んでいく。



神瀬地区かさ上げ高先行箇所

問 復旧・復興に向けた機構改革の中で、専門職、人事交流制度等も含めた職員の配置については。今の状況の中では、なかなか厳しいところもある



国道、県道、村道、林道等の 復旧状況は

西村 尚賜 議員



答 生活する上で重要な道路は徐々にではあるが、復旧に向け進捗している

問 生活の再建に必要な不可欠な国道219号線のインフラ整備、復旧の状況は。

村長 国道の現状は、渡々大野大橋間は通行可能、大野大橋八代市までが全面通行止めとなっている。神瀬々八代間は復旧工事が進められているが、緊急車両、住民車両等の通行は可能である。なお、国道の復旧見通しは未定であると報告を受けている。

問 国道219号線の通行止めに伴う代替措置である高速道路無料化の見通しは。

建設課長 県に確認したところ、代替措置として人吉々八代間の無料化を設定中である。期限については未定であるが、県から国へ代替措置の期間を継続されるよう要望されている。

問 村内の県道の復旧状況は。

村長 県道は、一勝地高沢線が8月に全面通行止めから時間通行止めとなり、通行可能となった。一勝地神瀬線は、7月の豪雨災害により大坂間々淋間が通行止めとなっており、県において復旧工法の検討中である。

問 村内の村道、林道の復旧状況は。

村長 村が災害査定を受けた村道のうち66%が工事を完了している。しかしながら、県の権限代行工事で行われる村道は順次復旧工事が進められているが、入札の不調も落もあり思うように進んでいない。また、本年7月の豪雨により被災した村道林道は、災害査定を受けるための測量設計の準備を進めている。

問 災害以降、手つかずの渡大槻線の復旧は。

建設課長 渡大槻線の境目地区々大槻地区間は、県の権限代行工事となる。順次、復旧工事を行うと聞いている。災害の被害が甚大のため、詳細な状況を把握しながら随時工事の発注を行っていくとの回答を得ている。



復旧が待たれる渡大槻線（境目地区）

また、迂回路の村道岡線も7月の豪雨により路面等が一部被災し、復旧作業を行っているが、道路の幅員が狭く、離合場所も少なく、大型車が通行するため大変々迷惑をおかけしているが、ご協力をいただき復旧工事を進めていく。

問 渡地区に計画される遊水地計画及び引堤計画の現況と住民の方々の意向は。

村長 遊水地計画の現状は、国において用地取得に向けた土地・建物調査を実施中である。年明けをめどに個別の用地協議に入り、文化財の調査が行われ、早ければ令和5年度から遊水地工事が着手される見込みである。

また、住居に関しては、ご意向やご意見を伺い、すでに再建された方々からは移転について了解を得ている。

問 復旧工事中の林道椎屋線は、7月の豪雨災害でふたたび被災しており、復旧の見通しは。また、迂回路の村道岡線の状況は。

建設課長 林道椎屋線は、災害査定を受ける。椎屋地区の生活道路であるため、査定前に応急工事ができないか協議を進めている。

復興推進課長 引堤計画は、国の事業で進められ、茶屋、舟戸地区への説明会協議会のおり、ご意向やご意見を伺い、移転、再建を確認し、了解されていると認識している。なお、農地についても同様に認識している。

地域コミュニティの再生・活性化は

宮本 宣彦 議員



答 地域活動は、住民が健康で暮らせる礎であり、生きがいがづくりにつながる

問 インフラ認定の解除の状況は。

であり、大槻地区も、解除時期を検討中である。

村長 ライフラインが途絶えるなど長期にわたり自らの住宅に居住できない世帯で、25地区を認定した。令和3年8月に9地区、令和4年5月に6地区、同8月には7地区の計22地区を段階的に解除した。

問 令和2年7月豪雨災害の世帯数の推移は。

課長 令和2年6月末で1,432世帯、令和4年6月末で1,314世帯である。

問 インフラ被害と復旧の状況は。復旧が進まず困っている地区があり早急の復旧対応は。

川島、境目、大槻地区の3地区については、生活道路が全面通行止めで、迂回路もなく、地区水道の復旧が困難であるため解除ができていない。川島、境目地区は令和5年2月に解除の予定

村長 川島、境目、大槻地区の3地区については、生活道路が全面通行止めで、迂回路もなく、地区水道の復旧が困難であるため解除ができていない。川島、境目地区は令和5年2月に解除の予定

問 インフラ避難をされた地域の方々で、道路の崩壊や土砂流入などの復旧がなかなか進まない。インフラ避難が解除され帰宅

減となっている。

課長 120世帯ほど減少している。区の増減の特徴は。特に、4区と5区で17.4%の減、全体的に8.2%の減となっている。

問 インフラ避難をされた地域の方々で、道路の崩壊や土砂流入などの復旧がなかなか進まない。インフラ避難が解除され帰宅

されている方々への支援は。

村長 支援が必要な方、高齢者の一人暮らしや障害をお持ちの方などに、支え合いセンターや包括支援センターがしっかりバックアップ、支援をして行かなければならない。

問 困り事がある人がいるのかわからないのか把握するため、区長文書の役割は大事である。発送の状況は。

総務課長 区長文書は35班には配布し、個人送付は43班、475世帯に配布している。今後、区長班長にアンケートをお願いし、できるようにであれば、10月から11月にも通常の区長文書としての機能を回復したい。

問 コロナの影響で、外での活動やふれあいの機会がない。健康管理、健康づくりの面から変化に応じた活動の推進が必要だと思いが。

社会係長 分館対抗グラウンドゴルフ大会を分館毎に行なっている。

ただき、顔を合わせていただくなどの事業を計画している。



グラウンドゴルフでリフレッシュ

問 シカやイノシシなどの野生獣が庭先まで来て、大切に育てた農林産物への被害が発生している。村で今回採用された地域おこし隊員2名がジビエの里協議会の仕事に加入されるのか。

村長 10月1日から隊員が来ており、将来的には狩猟から加工、商品開発等に当たっていくように考えている。うち1人は、狩猟の資格を持っているため期待をしている。

一勝地駅前になぎわい創出事業とは

板崎 壽一 議員



答 復旧復興になる重要な役割で社会経済活動の回復を念頭に置いた取組である

問 一勝地駅前にぎわいづくり調査検討業務委託料の2,000万円は妥当な金額か。

村長 6月定例会において、コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を財源として、調査検討業務委託料2,000万円を計上して、農林産物販売所や、カフェなどの交流人口の拡大や、村内特産物等の販売増加につながる施設を検討すると説明をした。ただ、行政主導で計画をするのではなく、一勝地地域の区長及び地域住民有志と意見交換を行い整備内容を決めたいと考え、今回の補正予算において、1,000万円を減額して減額した分は他の感染防止対策等に切り替えた。

問 当初2,000万円の計上途中1,000万円の減額。執行部の考えは。



にぎわい創出事業計画の一勝地駅周辺

復興推進課長 当初の2,000万円については、概算の見立て計上していた。今度の調査設計業務に50万円、残り950万円を整備事業と考えている。

一勝地駅下の駐車場は、令和2年7月豪雨災害で、村営住宅等が軒下まで浸水した場所ではあるが、地元産の野菜等の直販売店、物産館の施設、カフェの建物を設置する考えである。

問 当地区の場所は、かさ上げの計画並びに説明会があつているが、事業開始等はいつ頃なのか、また、駅前周辺には仮設店舗が3店舗あり、競合が懸念されるが。

復興推進課長 事業開始は県道のかさ上げ終了後になる。3店舗はあくまでも仮設店舗であり、その後、その施設が必要になるかどうかを考え、なるべく競合しないように情報を伝えていきたい。

問 この事業により一勝地温泉「かわせみ」に人がながれるように考えていると言われたが、執行部の考えは。

村長 村の観光の主要施設一勝地温泉「かわせみ」は、現在温泉部門のみを村直営で運営して

いる。一勝地地域のにぎわいづくりへの取組への方向性を示し、地域資源を最大限活用し、交流人口の拡大を図り、地域住民有志と共に取り組みながら、一勝地地域へ観光客を呼び戻し「かわせみ」への集客を考えている。

問 「かわせみ」物産館の利用方法は。

復興推進課長 農産物の出品等で重なるところがあると思うが、駅前周辺の客と「かわせみ」に来られる客層は違つと考えている。地域の方からご意見を伺い、今後の利用方法を考える。



ピンチをチャンスと考え、 大胆な施策を

高澤 康成 議員



答 住民に安心していただくように再建していく

問 将来に対する財源確保の施策は。

村長 自主財源の乏しい財政状況を鑑み、事業に応じた国や県の補助金・交付金を活用するとともに、地方交付税措置のあるより有利な地方債を活用していく。

を取り入れては。

村長 森林の活用については森林組合と協力し、民間の力を活用しながら取り組む。

問 村外からの受け入れをするためには、永住を目的とした

宅地造成を進めなければならない。

そして、これを先行して行なうこと
によって、小学校の環境整備も成
り立つ。将来的な学校環境整備は、
執行部としての考えを示し、議会
と住民とそれぞれ議論を交わしな
がら、最終的にどこに着地点を持っ
ていくのか、考えをしっかりと根拠
づけして言うことも首長の役目だ
と思うが。

問 目標数値を与えないから中途半端である。費用対効果を

考え、恵まれた森林をいかにお金
に換えていくのか、民間的な考え

村長 永住を目的とした宅地整備
は、これまでできていなかった
ところだ。生活再建に向けての
宅地の整備はしているが、議会に



渡小学校の仮設校舎と一勝地小学校、球磨中学校の校舎

相談しながら進めて行く。学校再
編については、今、基本構想を策
定中である。場所の問題は3つぐ
らいの方法を考えており、どれが
一番いいのか議会と共にしっかり
検討していきたい。

問 建設中の災害公営住宅は

100%の入居率を前提と
しているが、リスク回避を考える
と60〜70%の入居率で考えた方が

よい。解決策の考えは。

村長 100%の自身は、収入に対
して一番低いランクの家賃
で見積もっており、維持修繕関係
の費用も算定している。条件的に、
渡・一勝地の住宅は一等地に建て始
めており、近隣の市町村にもアピ
ルや募集をし、入居率100%を
目指す。

問 今後、村づくりにおいて大胆
な施策を打ち出さないとい

けない。行政としてどの側面で支
援ができるのか、2つも3つも施
策を打ち出し、形とした中でいつ
でもスタートできる準備段階を今
行なわなければ厳しいと思うが。

村長 災害公営住宅、宅地の造成
をクリアし、次の事業がで
きることとなり、行政サービスが
滞らないよう推進していく。

中学生議員が執行部に問う！

10月6日、第1回球磨村中学生子ども議会が開催されました。7人の中学生が、議長及び議員役となり、村の復旧・復興事業や観光、防災対策、施設利用をテーマに質問し、執行部と質疑が交わされました。

質問では、災害で地域が孤立した際の対策、一勝地温泉かわせみや球磨川を活用した雇用の創出、観光客を増やすための計画はあるのか、など、豪雨災害を受けた中学生ならではの考えを聞きました。



中学生議員の質問に答える松谷村長

第7回球磨村議会臨時会

10月6日、第7回球磨村議会臨時会が開催され、「工事請負契約の締結」を可決しました。（内容については、次のとおり）

○工事請負契約の締結について

令和2年7月豪雨災害により護岸が崩壊した楮木川河川災害復旧工事（7月災）について、9月28日に指名競争入札を行い、契約金額6,655万円で落札され、契約の締結を可決しました。



令和2年7月豪雨で被害のあった楮木川

球磨村復興スナッフ写真

令和2年7月豪雨災害で流失した、沖鶴橋、松本橋、大瀬橋の架け替え工事は始まりました。



人吉大柿地区から球磨村への道路工事



沖鶴橋架け替え工事



大瀬橋架け替え工事



松本橋架け替え工事

くまっこ 一勝地小学校 6年生



学級目標

クラスの自慢

こんな6年生になろう!

- ・「思いやり」の気持ちを忘れず、他の人のためにがんばれる6年生
- ・自分の目標に向かってコツコツと努力できる6年生
- ・「できない」ではなく「やってみよう」と考える粘り強い6年生

- ・元気がいい
- ・下級生に優しい
- ・自分の目標をしっかり持っている

<6年> 坂田 穂花さん いちか

私たちの学級は、みんな元気いっぱい、他の学年とも仲良しです。休み時間には元気よく遊んだり楽しい話で盛り上がりたりしています。私達は、一人ひとりを大切に、みんなで思いやりの気持ちを持って仲良くしていくことを頑張っています。けんかをしないで仲良く助け合っていくことをこれからも頑張っていきたいです。10月には修学旅行に行き、戦争中に長崎であった事や佐賀の吉野ヶ里遺跡の歴史について学習をしました。これからも一勝地小学校の代表としてみんなを引っ張っていけるように頑張っていきます!

<担任の先生> 酒井 克己 教諭 かつみ

6年生は、男子10名、女子4名、計14名です。絵が得意、算数の計算が速い、掃除をしっかり頑張る、下級生にとっても優しいなど、一人ひとりがキラリと輝く素敵な力を持っている子供たちです。日々の学校生活の中で、大切なことを自分で考えながら行動することを目指しています。これからもお互いを認め合い、自分を大切に、そして友達のことを大切にしながら、自信を持って楽しく学校生活を送ってほしいと思います。来年は中学校に進学するので勉強もしっかり頑張ります!

編集後記

晩秋を迎え、人吉球磨地方も恒例の「濃霧」がおおう季節となりました。冬に向かって「急流 球磨川」も水面を流れゆく川霧は、とても幻想的で冬季の到来を感じさせてくれます。

本村においては、令和2年7月豪雨災害からの復旧、復興が徐々に進捗していく中、本年7月の豪雨により、再び村道、林道、農地、山林等が被災し、大きな痛手となっています。9月には、大型の台風14号が接近し、雨風が吹き荒れましたが、幸いにも大きな被害は発生しなかったものの、あらためて自然災害への備えが重要であることを思い知らされるものでした。

急がれる「災害に強い村づくり」復旧、復興の中で、村執行部と議会が一丸となって取り組んで行かなければならないと、あらためて強い思いを感じさせられます。

西林 尚賜

議会広報特別委員会	
委員長	板崎 壽一
副委員長	西林 尚賜
委員	宮本 宣彦
委員	永椎 樹一郎

■球磨村世帯数:1,290世帯 ■人口:2,984人 男:1,429人 女:1,555人(令和4年11月1日現在)